

地震の被害

を軽減させる

ヒント



埼玉県警察マスコット
ポツポくん

自宅で地震が発生した場合、あなたの家庭は安全ですか？
家の耐震化や家具固定などの対策を行い、自宅の安全環境づくりを
行いましょう。

・ 自宅の耐震診断

昭和56年（1981年）、住宅を建てる時に建物の強さを定める基準が大きく変わりました。
この年以降に建てられているかが、ご自宅の強さを知る一つの目安です。

○ 昭和56年（1981年）より前に建てられた家

↓
専門家の耐震診断を受け、その結果に応じた補強を行いましょう。

○ 昭和56年（1981年）以降に建てられた家

↓
新しい耐震基準に基づいて作られた建物であっても、建物が全く
壊れないということではありません。

年月の経過とともに住宅も変化します。点検・整備をこまめに
行いましょう。



・ 家具の配置と固定

平成7年（1995年）に発生した阪神・淡路大震災や、平成28年（2016年）の熊本地震など
で、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになり、尊い命を失ったり、大けがをしたりしまし
た。大地震では、家具は必ず倒れるものと考え、固定や配置の見直しをしましょう。

○ 家具は、倒れる向きを考えて配置しましょう。

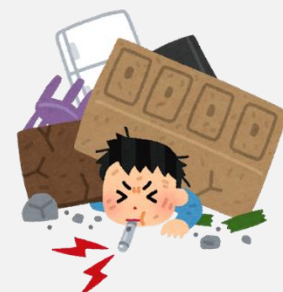
○ 家具部屋を作りましょう。（寝室や居間として使用しない）

○ 作りつけの家具を使いましょう。

○ 寝室には家具を置かないようにしましょう。

○ 家具を置く場合は、固定することで転倒防止をはかりましょう。

※ 賃貸住宅等で壁や家具にキズをつけたくない場合は、穴を開けず
に済む方法（ストッパー、粘着マット、ポール式器具など）を講じ
ましょう。2つ以上組み合わせると、より高い効果が期待できます。



・ 防災用品の備え

災害が発生すると、急ぎ安全な場所への避難が必要になる場合もあります。避難に必要な物
を入れた非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。

県警ホームページ掲載「わが家の安心チェックシート」をぜひご活用ください。